

香川県立多度津高等学校 100周年記念行事

あずまや建設プロジェクト

(令和2年～3年：冬号①) 基礎工事①

☆あずまや建設プロジェクトホームページはQRコードより

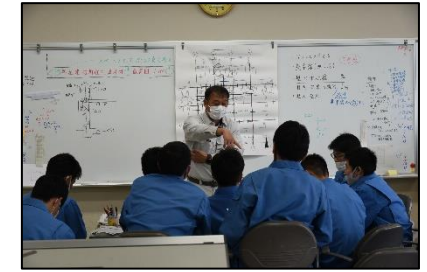


【QRコード】

基礎工事スタート

【安全教育】本校にて

12月4日(金)に安全教育を行いました。これから現場での作業が本格化することに伴い、危機管理に対する意識を高めるためです。講師は現場経験の長い本校教員が務め、みんなで考えることができました。これから一年間、無事故での現場作業を願っています。



【床掘り作業】

12月10日(木)に床掘り作業を行いました。課題研究の時間に生徒が手掘りすることも検討しましたが、工期の短縮が求められる観点から、前もってバックホーによる床掘り作業をお願いしました。現場が動き出し、明日の課題研究からが楽しみです。



【碎石の敷詰めと転圧作業】

12月14日(月)から基礎工事のスタートとなりました。先週、(株)山倉建設に床掘りをしてもらい、捨コンクリートを打設する前の準備として、碎石の敷詰めと転圧作業を行いました。生徒は誰もが初めての作業で、全てが手探り状態でしたが、現場での作業を実感することができました。なお、今日の作業から土木科が参加し、心強い活動となりました。

生徒感想文(施工グループ)

私は現場から出た残土の移動を担当しました。残土とは床掘りをした際に出た土のことで、たくさん量があります。また大小の石が混ざっているためとても重く、大変な作業でした。この作業を通じて、改めて重機のありがたさを知ることができました。

その床掘りをした地盤に碎石を敷き、基礎の準備をしました。碎石はプレートで締め固め、側面を斜めに整えました。基礎は建物を建てる上で重要な部分だと思っているので、真剣に取り組みました。

3年建築科 植田航生

**現場作業が始まる**

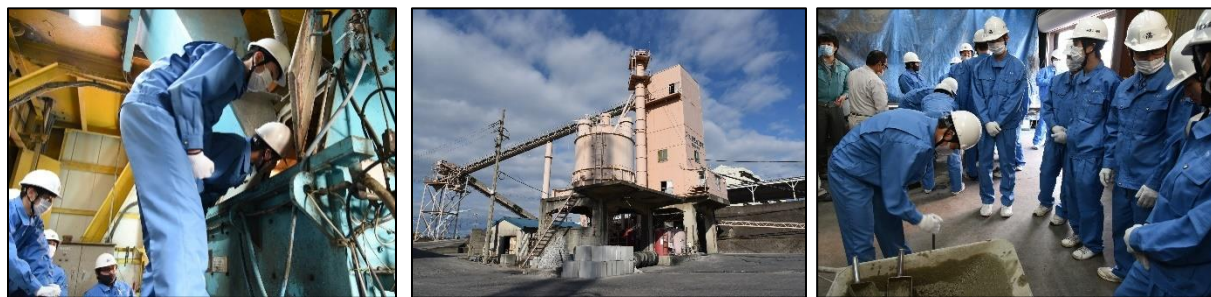
12月に入り、いよいよ現場での活動が始まりました。施工グループにとっては、これからの活動が本番となります。本来ならば2学期の開始とともにといった所ですが…。目指すは2月の上棟式、3月の屋根工事、そして今年度末までの完了検査です。これから基礎工事に入りますが、土木科が本格的に参加します。総力戦でがんばりましょう。

見学会

【コンクリート工場見学・研修会】

協力：香川県生コンクリート工業組合、アサノ五色台工業(株) 多度津工場

12月4日(金)にアサノ五色台工業(株)多度津工場にて工場見学・研修会をしました。今年度最後の企業研修会になりましたが、生コンクリートのプラント工場はスケールが大きく、圧倒される場所でした。普段よく目にするコンクリートですが、かなりデリケートなものという印象を受けました。コンクリートの配合は、完全に機械で調整され、品質は間違いのないものとなっていました。見学後は、スランプ試験・空気量測定・塩分測定など、生徒も興味を持って作業することができました。

**生徒感想文(設計グループ)**

12月4日に学校近くにある「アサノ五色台工業(株)多度津工場」に行きました。ここではコンクリートに必要な砂利や砂などの材料、また普段見ることのできない生コンクリートを製造する工程などを見ることができました。また、スランプ試験や空気量測定など、あまり体験できないこともでき、大変勉強になりました。あずまや建設プロジェクトで、この生コンクリートが使用されると思うとワクワクし、完成が待ち遠しくなりました。

3年建築科 田村海翔

【捨コンクリート型枠組立】

12月15日(火)に捨コンクリートを打設する前の型枠の設置に入りました。捨コンクリートは墨出しをするために必要な部分で、細かな精度までは求められませんが、重要な作業です。土木科がレベルにて高さを指示し、建築科の生徒が印を付け、連携がとれた作業になりました。

生徒感想文(設計グループ)

この日は捨コンクリートの型枠を設置しました。最初は型枠の位置に鉄筋を差し込みました。碎石の上からだ打ち込みにくく大変でした。次に貫板を立て、動かないように鉄筋で固定しました。現場がどんどんと形になっていき、やりがいのある作業でした。現場は大変な作業や重労働などの作業もありますが、終わった後はすっきりとし、これからの参考となりました。また、就職先での作業が楽しみとなりました。

3年建築科 佐柳和樹



【捨コンクリート型枠外し・墨出し作業】

12月18日(金)に捨コンクリートの型枠を外し、墨出し作業に入りました。基礎の立ち上がり部分の中心を出す作業で、位置は土木科に出してもらいました。この作業により来週の型枠設置に入る予定でしたが、ミスが発覚し、一部やり直しとなりました。またこの日はテレビ局の取材が入り、その収録にも参加しました。

生徒感想文(設計グループ)

今日は課題研究から放課後にかけて捨コンクリートの型枠を外して墨出しの作業をしました。現場での作業は非常に寒かったのですが、これからの就職を考えるとワクワクしました。いろいろなところで勉強になり、失敗もありましたがそれも参考になりました。

放課後はNHKの取材がありましたが、番組を制作するのは時間がかかり、大変だと知ることができました。東屋の完成も番組の完成も待ち遠しいです。

3年建築科 上田海大



【捨コンクリート打設】

12月16日(水)に捨コンクリートの打設を行いました。小型の生コン車が到着したら一輪車を使って運搬し、木罎(きごて)でコンクリートを均す作業が続きました。全員がそれぞれを体験し、現場が実践の場となりました。この日は非常に寒い一日でしたが、充実した作業ができたように思います。

生徒感想文(土木科)

今回コンクリートを打設してみたことは、想像以上に難しいということです。コテで均すのは簡単だと思っていましたが、いざやってみると力の加減により均一に均すことができませんでした。適切な力の加減や経験が大事だということを知ることができました。また、建物を建てるのにたくさんの工程や作業が必要だということが分かりました。まだまだこれからですが、完成に向けて取り組んでいきたいと思えます。

1年土木科 安治川 衛



【外周型枠組立作業】

12月23日(水)午前中から(株)山倉建設が外周型枠の設置のため作業をしてくださいました。前回の捨コンクリートのミスの修正作業など大変お世話になりました。今年の作業は終了となり、来年は1月6日(水)からスタートします。7日(木)は鉄筋の運搬・組立を武田建設(株)にお願いしています。楽しみです。

生徒感想文(土木科)

この日は山倉建設さんが外周型枠を設置する日でした。私たちはその作業の手伝いとして参加しました。私は杭を型枠の外側に打ち込む作業を担当しました。カケヤで杭を打つときはまっすぐに振り落さないで杭頭が割れてしまうので想像以上に難しく、力のいる作業でした。今回の作業で外周型枠がほぼ完成し、基礎の部分が明確に想像できるようになりました。完成が楽しみになりました。

1年土木科 渡邊直也

